

[安全に関する重点施策] (2025 年度) への取組み

1 安全優先の原則を徹底するため、次のとおり防災訓練の充実・強化を目指します。

<取組内容>

(1) 船舶における非常事態に対応できるよう通報、初期消火（消火器の取扱い、放水の実施等）、避難経路の確認等基礎的な訓練を実施する・・・**達成**

*2025年9月25日（木）日の出待合所にて 地震・津波の避難訓練及び備蓄品保管場所の確認

*2025年11月19日（水）シンフォニーモデルナにて救命胴衣着用方法、消火器取扱い実演、消火ホース放水実演、救命艇用縄梯子の展開

(2) 事故・災害の発生に対する事故処理を適切に行うための訓練に取り組む・・・**達成**

*2025年5月15日（木）シンフォニーモデルナにて衝突火災の訓練実施

(3) 訓練にあたりシナリオは必要最小限に留め、リアリティーのある訓練を推進し、官庁

関係と連携を図りより現実的に有効な訓練を実施する・・・**達成**

*11月7日（金）防火防災講演会参加（運航管理者）

2 関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。

<取組内容>

(1) 安全管理規程の理解を深め適切に判断、処置が出来るよう運航管理に係る社員に対し安全管理規程の内容に関する教育を実施する・・・**達成**

*12月11日（木）「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」～輸送の安全性の更なる向上～から出題し運航管理者及び副管理者にて実施

(2) 安全管理規定第30条に基づき、港内の諸施設整備及び航行上の注意喚起を注視し情報収集を図ると共に、近隣事業社と情報の共有を行うことで安全運航に努める。

・・・**達成**

*12月1日（月）近隣旅客船会社との安全会議の実施（東海汽船・屋形船協会・シーライン東京 運航管理者・運航部長参加）

(3) 関係法令を遵守し、安全管理規程の安全基準に沿った運航の可否判断を行うことで

安全運航に努める・・・達成

* 台風及び高低気圧接近に伴う荒天会議を船長、安統管、運航管理者、副運航管理者と情報を基に実施した。

3 安全管理体制の組織的改善（Plan Do Check Act）を次のとおり進めます。

<取組内容>

(1) 安全管理の取組状況チェック表（別紙）により、社の取組みをチェックし更なる改善を目指す・・・達成

* 最終チェックを2月1日から実施した。

(2) 原因の追究・分析を図り、注意喚起を実施する・・・達成

* 安全パトロールを活用し原因の追究・分析を図り改善を行った。

4 安全確保のための教育・訓練を次のとおり実施します。

<取組内容>

(1) 東京港を取り巻く環境変化等について、適宜、全従業員に対し、防災意識の拡充・向上に努める・・・達成

* 四半期毎の防災訓練を通じ安全に対する意識向上を図った。

(2) 安全対策会議等の検討結果、報告事項等について確実に従業員に周知する・・・達成

* 各部署間でのミーティングを通して周知を行った。

(3) 安全管理規定の関係法令を遵守し、気象海象の状況に沿った運航の可否判断を関係各署との荒天会議で決定し安全最優先を徹底する・・・達成

* 台風及び高低気圧接近に伴う荒天会議を船長、安統管、運航管理者、副運航管理者と情報を基に実施した。

5 現場の危険予知活動の活性化を図り安全性を向上させます。

<取組内容>

(1) ヒヤリ・ハット情報の収集・分析を継続的に実施する・・・達成

* 安全対策会議等にて案件を発表し共有を図り、注意喚起を図っている。

(2) ヒヤリ・ハットの具体的対策を実施し、フォローアップの徹底を図る・・・達成

*安全対策会議及び安全パトロールを活用しフォロー状況を確認した。

(3) ヒヤリ・ハットの報告件数増加を目指す。(前年実績 5 件)・・・達成

*運航部 4 件、調理部 1 件、船客サービス部 1 件 合計 6 件

6 運輸安全マネジメントの要員、体制を見直し、活動をレベルアップさせます。

<取組内容>

(1) 組織的、継続的なマネジメント態勢とするための要員と体制を再度検討し改善する

・・・未達成

(2) 適切なマネジメント態勢を維持するため、要員に対し必要な外部教育等を行う

・・・達成

*9月2日、3日 令和7年度運輸安全マネジメントセミナー参加

*12月12日 第1回乗組員研修会及び2月3日 第2回乗組員研修会参加

*2月6日 安全統括管理者・運航管理者研修会参加

以上